ＪＡ全中　Monthly Report

併せてＪＡ全中ホームページ（http://www.zenchu-ja.or.jp/）もご覧ください。

3月

中家会長　３月定例会見　会長からのメッセージ

中家会長は３月８日、第64回通常総会終了後、定例会見を行いました。「総会では、平成30年度の事業計画の承認をいただきました。来年５月は政府が定めた農協改革集中推進期間の期限、９月は全中が一般社団法人に移行します。つまり、この１年間が重要になります。組合員からの負託に応えるべく、改革の実現に向けて全力で取り組むことを確認しました」と冒頭のあいさつを述べました。

今月11日で東日本大震災から丸７年になります。昨年秋からの岩手、宮城に次いで、今月１日、２日に福島の被災地を訪問しました。今も住民が帰還できない地区の田んぼに柳の木が生い茂っている風景を見て、私も農家出身なので、涙の出る思いをしました。被災地では、まさにＪＡが力を発揮しています。しかし、まだまだ復興道半ばです。風化させることなく、組織を挙げて支援を継続してまいります。

ＪＡグループは「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の３つを基本目標に掲げ、実現に向けて、それぞれのＪＡが創意工夫し、自己改革の実現に取り組んでいるところです。重要なのは、組合員、地域の皆さんに「ＪＡは改革に向かって、よくやっている」と理解してもらうことです。

通常総会で「ＪＡグループの自己改革実践の加速化に関する特別決議」を行いました。全国のＪＡに共通認識としてもらいたい。私も現場にお邪魔して、対話をしてまいります。

会長メッセージはＪＡグループのウェブサイト（http://org.ja-group.jp/message）に掲載しています。

「ふるさとの食 にっぽんの食」被災地の仲間を応援しました

「日本農業賞」の表彰式に併せて、３月10、11日、NHK放送センターで開催された「ふるさとの食 にっぽんの食 全国フェスティバル」において「被災地応援！『ガンバレ！農家』」を実施しました。

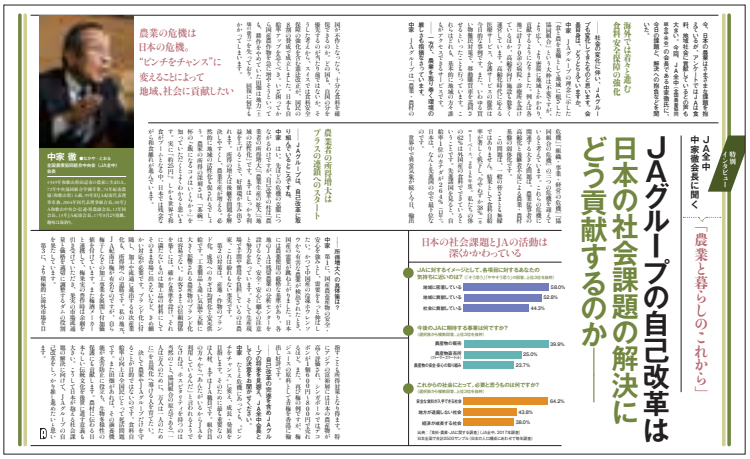
ＪＡ全国女性組織協議会と連携して、調理実演を行い、自慢の郷土料理を振る舞いました。東日本大震災、熊本地震で被災した農家の仲間たちに応援メッセージを送りました。

また、“絶品ごはん”の食べ比べを行い、岩手、宮城、福島、熊本で収穫されたお米をPRしました。

おいしいごはんができました

中家会長＆会長島耕作“対談”など掲載

ビジネス誌『プレジデント』の４月２日号に中家会長のインタビューが掲載されました。また、３月19日の『読売新聞』にて「会長島耕作」（弘兼憲史）と“対談”しました。

『週刊新潮』連載中の中家会長のコラム「ピンチをチャンスに！」は、４月５日、19日発売号に掲載予定です。

※第６回（３月15日号）、第７回（３月29日号）掲載分は、『月刊ＪＡ』のHPからもご覧いただけます。